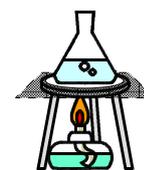


理科

<授業>

- ① 教科書、ノート、ワーク、理科ファイル、資料集（資料集は学校に置いてOK）を毎回用意しましょう。（忘れ物は絶対にしないように。）
- ② 先生が説明したところで大切だと思ったこと（2度繰り返したり、ゆっくり話したりする重要な部分）は必ずメモをとりましょう。そして、帰宅してからノートづくりをしましょう。自分だけの参考書をつくるイメージで取り組むと良いです。
- ③ 授業中の私語はつつしみましょう。（他人の迷惑になるだけでなく、自分自身にもマイナスになります。）
- ④ 授業中はしっかり考え、間違いを恐れず積極的に発言しましょう。
- ⑤ 実験に積極的に参加しましょう。（実験のやり直しはできません。）
そして、何を確かめる実験なのか目的をもって臨むようにしましょう。実験器具や装置の名前も覚えましょう。教科書に出てくる理論値と自分たちで行った実験結果とが異なることがあります。そんなときは、その理由を考察しましょう。



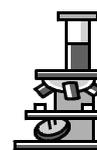
<家庭学習>

【予習】

次に学習する内容を予習できると良いです。教科書や参考書等をじっくり読み込んでから授業に臨むことで、内容がよく分かり授業が楽しくなります。

【復習】

- ① きちんとノートをまとめながら、学習内容の定着を図りましょう。
また、実験装置などを図示したり、〇〇が△△になったなどと書きこむと良いノートになります。
- ② 既習範囲のワークをやりましょう。新出用語についても覚えましょう。
- ③ 課題や宿題は計画的に必ずやりましょう。
- ④ 記号や公式は、繰り返し練習して覚えましょう。
- ⑤ ワークやプリントの中で、わからないところは自分で調べましょう。それでもわからないときは先生に質問しましょう。



【発展】

- ① 問題集などで計算の方法や図の見方を定着させましょう。
- ② NHKのホームページ10minはおすすめです。また、天気予報や科学に関するドキュメンタリーは広い知識が得られます。
- ③ 理科ができるようになるおすすめの方法は、友達に説明できるようにすることです。
自分の言葉を使って説明できるということは、身に付いた証拠です。
- ④ 入試問題に挑戦しましょう。1～3年生の各領域から出題されています。問題や図表を深く読み込む習慣が身に付くと良いです。